

回収された古紙があんな紙やこんな紙に!

集められた古紙は、種類によってリサイクルされる紙がちがうんだ。ちゃんとリサイクルするためには分別しておくことが大切!



牛乳パックを使って
ハガキを作ったよ。
楽しかった一日

ピンちゃん



見学した工場では
雑誌「ジャンプ」の紙
も作られているんだって。

カンちゃん

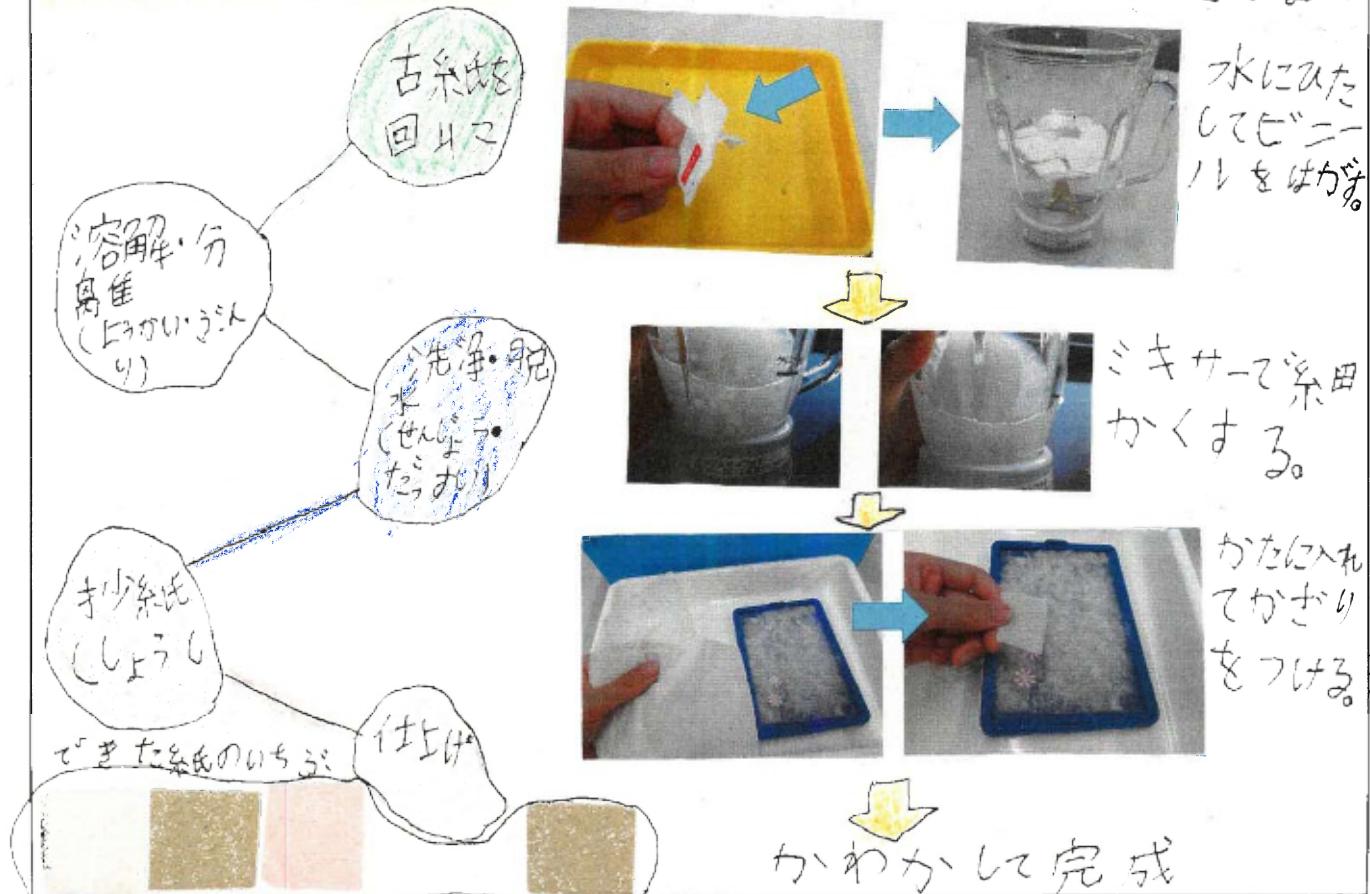
令和5年8月4日(金) 紙の講座

向山小学校 五年生 名前: 石田 英佳

家から出るゴミには資源となるものもあり、きちんと分別することによってリサイクルできる事を勉強しました。資源となるものはリサイクルしないと、ゴミの埋め立て地が足りなくなったり、森林や石油資源のおだづかいとなるそうです。

リサイクル紙の工場見学もしました。私達が使い終わった段ボールを水でドロドロにとかし余分なゴミを取りのぞいた後、あみの上に流しこんご、かんそくさせて新たな紙を作っていました。余分なゴミにはくぎやゴルフボール、石もあり、正しい出し方をみんなでしないといけないなと思いました。他には、牛乳パックを使ってハガキ作りをしました。自分でリサイクルできることを知り、楽しかったです。今まで以上に、ゴミの分別や正しく出すようにして、資源を資源として使えるように協力したいです。

紙ができる工程 牛乳パックからはがきができるまで



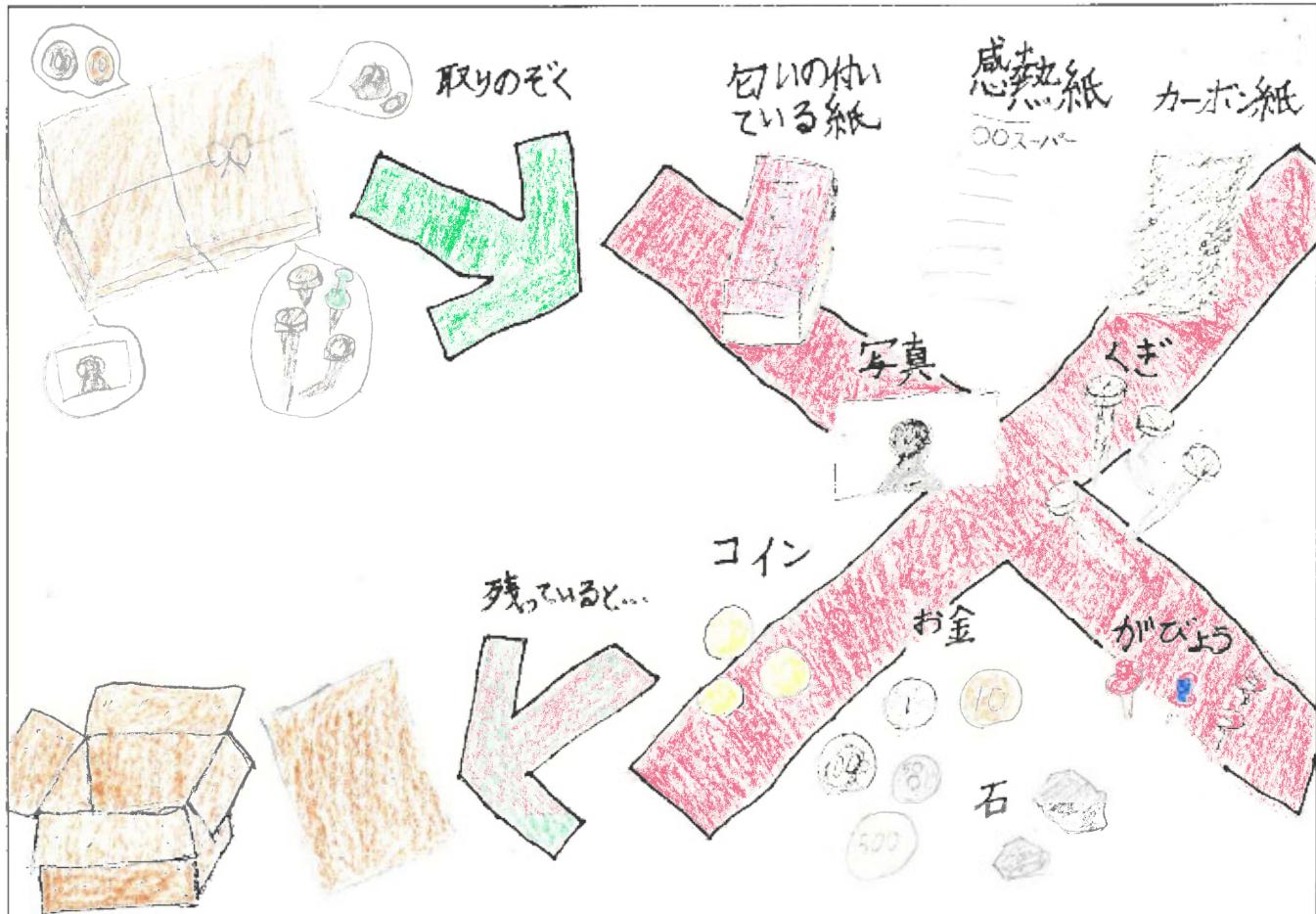
令和5年8月4日(金) 紙の講座

本日の小学校 4年生 名前：加藤 裕太

ぼくは、紙のリサイクルについて学びました。

そこで一番楽しかったことは、牛乳パックを再利用してはがきを作ることです。水にひいた牛乳パックの両面のビニールを取り、水の入ったミキサーで細かくしてそれを、かたに流してからわかして、作りました。作った紙は思ってよりもじぶぶで、くりしました。

二番目に楽しかったことは、株式会社コペーパーJPの紙のリサイクル工場を見学したことです。紙のリサイクルには、主に4つの工程があります。見ることができました。古紙は大切にしなくてはいけないので、これからはまたリサイクルしていきたいと思っています。

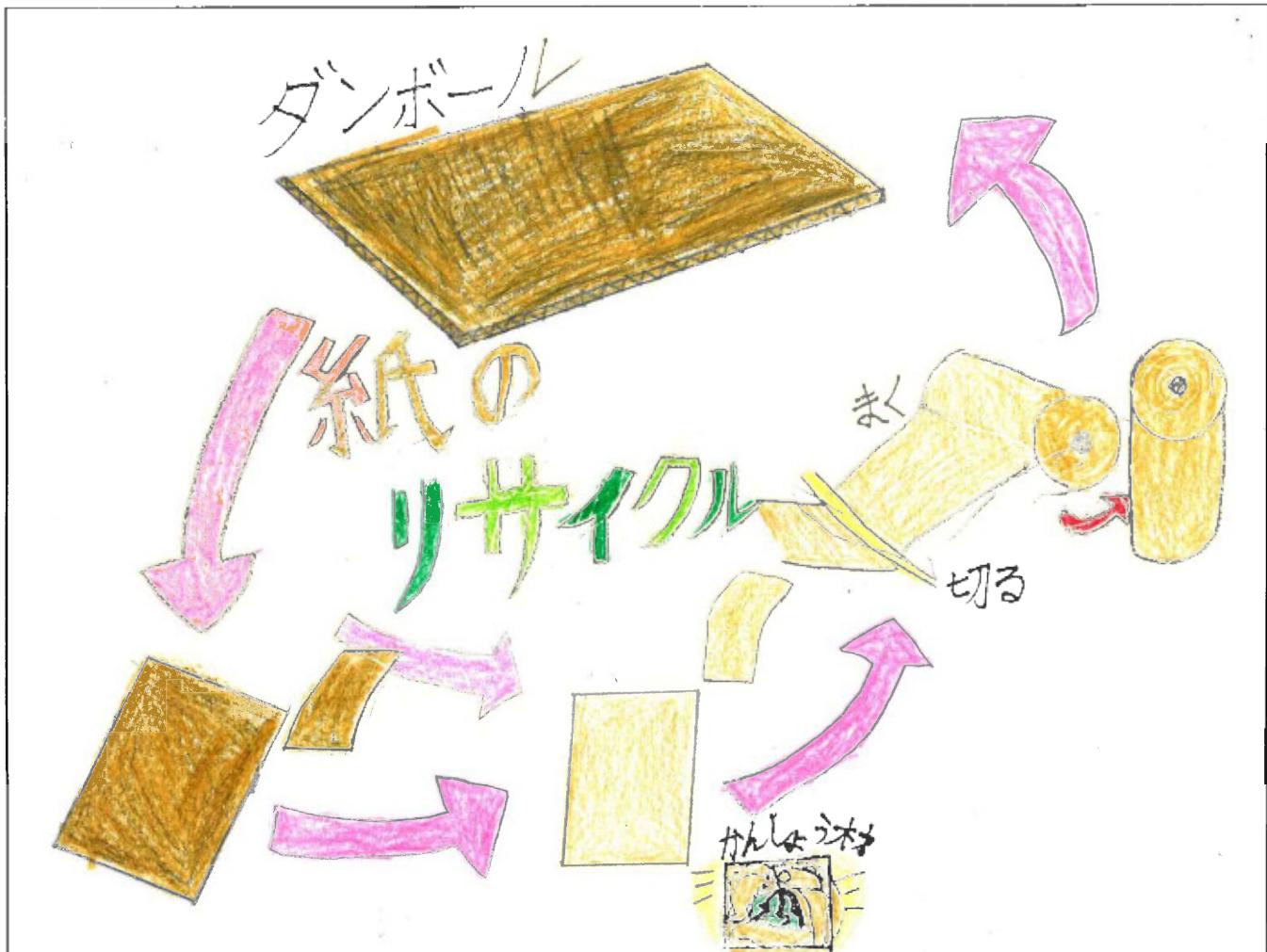


紙がよごれてしまう。

令和5年8月4日（金） 紙の講座

朝日東 小学校 六年生 名前：森朱莉

私は紙のリサイクル工場に行き、リサイクルに出された古紙の中から、大きな石やくぎ、コインなどのリサイクル出来ない物が入っていたと聞いたときは、とてもおどろきました。また、同じ紙でも感熱紙やカーボン紙、写真、匂いが付いている紙などはリサイクル出来ないことも知りました。地球の限りある資源を守るリサイクルはとても大切なことだと思います。ただし、リサイクルする物に余計な物が混ざってしまって、がえて大変だということを知りました。なので、これからもリサイクルできる古紙は積極的にリサイクルにしていきたいと思います。ですかリサイクル出来ない物が混ざってしまわないようしかしかりと分別することが出来ているか確認してからリサイクルに出そうと思いました。



令和5年8月4日（金） 紙の講座

朝日小学校 四年生 名前 森 彩那

紙のリサイクルについて、ボロボロだたダンボール紙が、とかされて、のばされて、かわかされて、一枚のうす、ぺらい紙になってしまった。

また、同じものがうすい紙と厚い紙が出来ることも知りました。うすい紙は、マンガや、かんじょう材になる扱わりをもつていたのですが、ぐれどでした。そのロールが上から見たら、約2メートルでした。よく速度が上がったり下がたりしておもしろかったです。ダンボール紙をリサイクルするまでが大変なアタと分かりました。

厚い紙の方は紙を重ねてダンボール紙になることを教えてもらいました。大きなロールになってしまふのが、ダンボール紙になるのがおどろきました。そのロールが上から見たら、約2メートルでした。よく速度が上がったり下がたりしておもしろかったです。ダンボール紙をリサイクルするまでが大変なアタと分かりました。

丹陽西小学校 4年生 名前：山田 楓

奥町にある一宮市環境センターへ行きました。

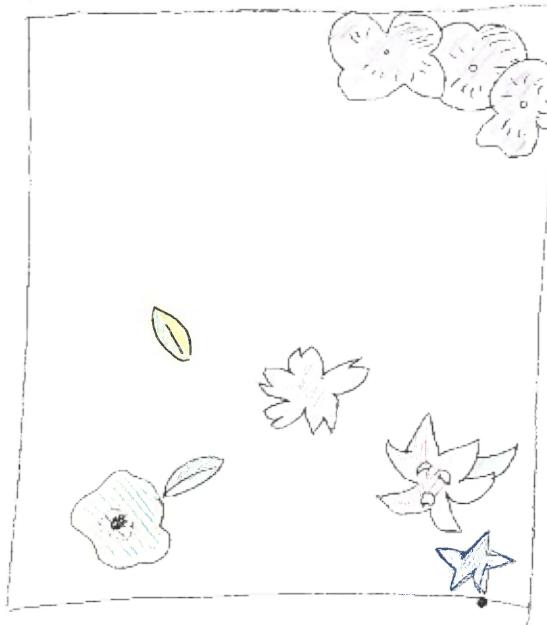
一宮市環境センターでは、ごみの分別や工作をしました。工作は、はがきをつくり、かぎりつけをしました。

ごみの分別は可燃ごみや不燃ごみなどのいろいろなごみをなににいれるか分からぬときには、思い出すといいと思います。

一宮市環境センターには、スチール缶やアルミ缶、可燃でわかれているので分けやすいと思します。

でも、でかい建物なのでほかの部屋はないやるのかよしです。

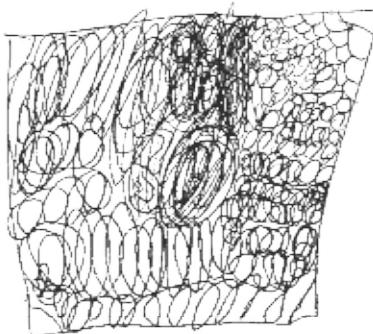
また、はがきを作つてみたいと思いました。



丹陽西 小学校 4年生 名前 山田 歩

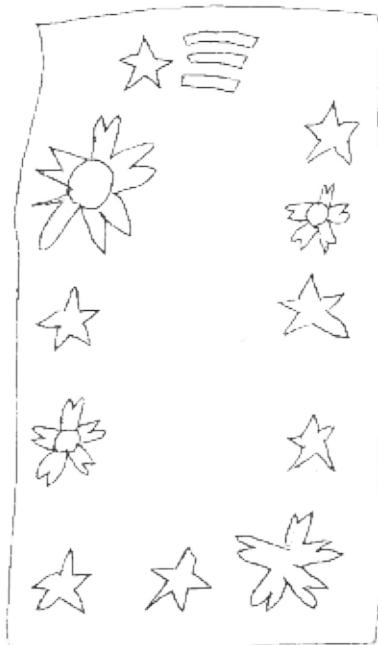
ぼくは、今日一宮市環境センターに、行きゴミの分別について勉強をしてきました。一宮市環境センターでは、はがきを作ったのしかったです。

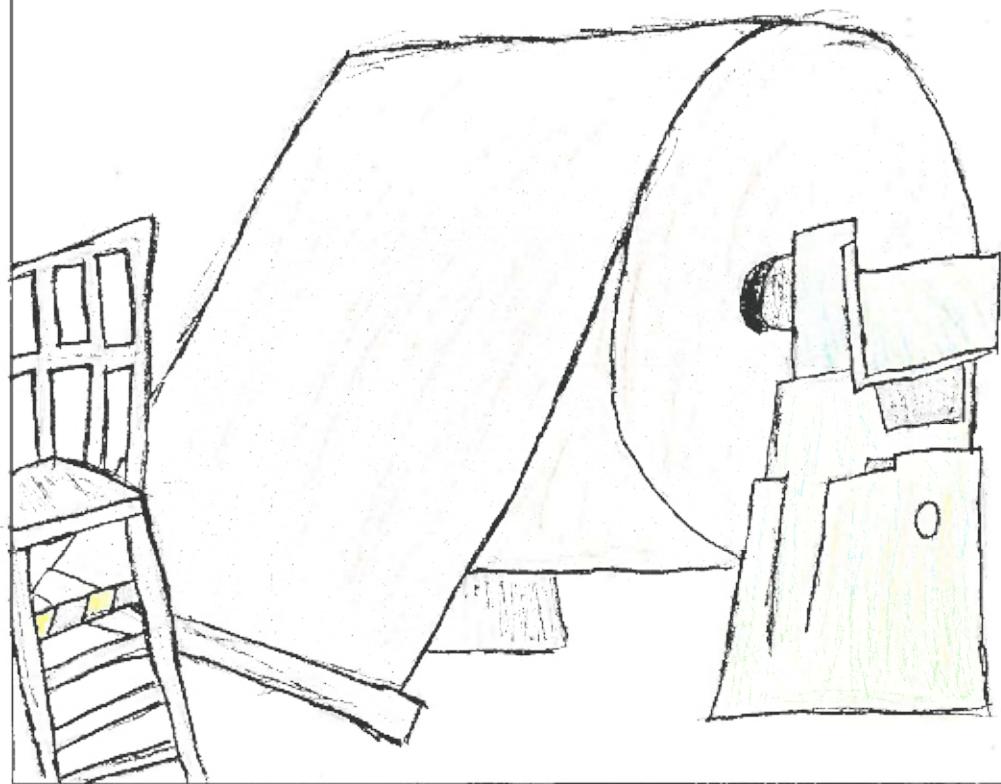
次に株式会社エヌ・パー・エフを見学したとき、大きさで「プロダムたいなやつ」か、約100kgもあるとしらうなくて、はじめは、200kgだとおもてましたけれど、いざ見ると、あともう一つありました。大きさが、とても大きくて、重いのです。



「プロダムたいなやつ

はがき





令和5年8月4日(金) 紙の講座

木曽川東小学校 4年生 名前 徳竹楓花

ダンボールをどうやってリサイクルするのか気になって環境センターで紙の講座にさんかしました。

環境センターでごみについて勉強したあと、牛乳パックではがきを作りました。牛乳パックがはがきになるってキレイびっくりしました。

そのあとバスで尾張旭市の紙のリサイクル工場を見学させてもらいました。一番すごいと思ったのは、完成した再生紙をロール状に巻き取って注文の寸法通りに断裁し、梱包し完成させるところです。

見学させてくれてありがとうございました。